

展開する事業群(2-1-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		保育・教育環境の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	20年度実績	19年度実績	18年度実績	17年度実績
保育・教育内容や活動、施設の充実	保育内容の充実(保育所)	こども福祉	H17～21	各種事業内容の継続	各種事業内容の継続	各種事業内容の継続	各種事業内容の継続
	家庭支援推進保育事業の実施	こども福祉	H17～21	2保育所に各1人担当保育士配置	2保育所に各1人担当保育士配置	2保育所に各1人担当保育士配置	2保育所に各1人担当保育士配置
	保育所園庭の芝生化の検討	こども福祉	H17～21	草内保育所で一部継続実施中。	草内保育所で一部継続実施中。	草内保育所で継続実施中。	草内保育所で継続実施中。
	特色ある園づくり (幼稚園:体験活動等を生かした活動や幼児の特性や発達に応じた指導方法の工夫)	学校教育	H17～21	幼児が安定した情緒の下で自己を十分に発揮することができるよう発達に必要な体験を得るために「幼稚園・ラ・ラ体験事業」を各幼稚園で実施した。	同志社大学のサッカー部、馬術部等との交流とともに、大学から講師を招いて親子での体を使った遊びを研修した。	同志社大学の見学、同志社大学ラグビー部、サッカー部、馬術部等との交流及び幼小連携事業などを各幼稚園で行った。	同志社大学の見学、同志社大学ラグビー部、サッカー部、馬術部等との交流及び幼稚園・小学校連携事業などを各幼稚園で行った。
保育所、幼稚園、小・中学校等施設の計画的な改善	各保育所耐震調査	こども福祉 教育総務	H17～21	小学校 平成16年～17年の耐震調査の結果をふまえ、各学校の耐震化の工事を順次実施。平成20年度は草内小学校の給食棟・体育館、三山木小学校体育館、新小学校管理校舎棟・体育館、田辺東小学校管理校舎棟について耐震補強工事を実施。また、田辺東小学校については、併せて大規模改修工事を実施した。	平成16年～17年の耐震調査の結果をふまえ、各学校の耐震化の工事を順次実施。平成19年度は大住中学校、田辺東小学校の休憩室、便所棟等から実施。	草内小の屋外階段、北校舎普通教室、1階廊下天井改修、3階軒天補修、新小のフェンス、2・3階廊下手洗、1階職員室便所改修、田辺東小の給食室サッシ・網戸改修、田辺小の防球ネット新設、普賢寺小の2階便所改修、三山木小の1階南側便所、校舎東面庇改修、大住小の体育館瓦棒屋根防水改修工事、フェンス改修などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。	1. 小学校 桃園小の2～3階階段照明、体育館倉庫棟・側溝改修、大住小の1階便所改修、新小のフェンス改修、普賢寺小の手洗い場、校舎屋上フェンス、屋外階段、一階便所改修、三山木小の給食室アルミサッシ改修、田辺東小の体育館屋根防水改修などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。
				幼稚園 大住幼稚園の園舎外壁改修と床張り替え、田辺幼稚園の床張り替え、及び田辺東幼稚園の園舎外壁改修などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。	1 幼稚園 田辺、田辺東、新、松井ヶ丘幼稚園の保育室改修、床張り替え、壁モルタル工事などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。	2 幼稚園 田辺幼の保育室改修、壁モルタル撤去及び復旧、薪幼の掲揚柱撤去新設、大住幼の西園舎便所改修、松井ヶ丘幼の昇降室前側新設工事などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。	
				各保育所耐震調査	(三山木保育所) 遊戯室壁改修工事・保育室壁改修工事・床下換気扇設置・床改修工事 (草内保育所) 遊戯室物入れ床改修工事・砂場整備工事	河原保育所アスベスト調査・南山保育所軒天井改修工事	3. 幼稚園 大住幼の保育室改修、駐車場の新設、田辺幼の側溝・構改修、保育室湯沸室タイル補修、東側園舎保育室改修、三山木幼のフェンス改修、シャッター新設などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。
						4. 保育所 草内保育所、幼児用便所換気扇設置工事・三山木保育所、0,3,4,5歳児室改修工事、給食室網戸設置工事、0,4,5歳児出入口扉設置工事・南山保育所、藤棚撤去工事、欝棚撤去工事	

意見発表等の機会の充実	「子どもの主張大会」の実施	学校教育 子ども福祉	H17～21	平成20年11月29(土) 田辺中央公民館ホールで実施。発表者12人 作品応募総数926人 参加者数300人	田辺東小学校北校舎に身体障害者用トイレの設置	平成18年11月5(日) 同志社大学恵道館で実施。発表者13人 作品応募総数1158人 参加者数150人	平成17年5月8(日) 中央公民館大ホールで実施。発表者13人 作品応募総数1,026人 参加者数300人
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	特色ある学校づくり ・市研究指定校制度(学校改善) ( ) ・社会人講師の活用(地域人材の活用) (再掲3-(1)- ) ・総合的な学習の補助(消耗品の補助)	学校教育	H17～21	平成20年度から、草内小、大住中を新たに指定校とし、3年計画で実施。 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施。登録者26人。総合的な学習の時間等で地域の人材を活用小学校3～6年生児童1名500円、1学級5,000円を配分。中学校生徒1名500円、1学級10,000円を配分	平成19年度には、三山木小、田辺東小及び松井ヶ丘小が新たに指定校となり、小学校9校全校が実践した。 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施。登録者52人。総合的な学習の時間等で地域の人材を活用小学校3～6年生児童1名500円、1学級5,000円を配分。中学校生徒1名500円、1学級10,000円を配分	田辺小・草内小を指定校とし3年計画で実施 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施 登録者43人 総合的な学習の時間等で地域の人材を活用 小学校3～6年生児童1名500円、1学級5,000円を配分。 中学校生徒1名500円、1学級10,000円を配分	田辺・草内小学校を指定校として3年計画で実施した。同志社大学等の学生ボランティア(登録者数15人)による学習支援を実施した。また総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。消耗品の補助については、小学校1・2年生児童1名500円、1校5,000円を配分、中学校生徒1名500円、1校10,000円を配分を行った。
	進路指導の充実 ・職場体験学習	学校教育	H17～21	各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。	各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。	各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。	各中学校2年生を対象に、全員が体験学習を行った。
社会の変化に対応する教育の推進	国際理解教育の充実 ・AETの活用(外国人による英語授業)	学校教育	H17～21	英語指導助手を3名採用し、中学校において英語授業の補助。英語クラブ、課外活動への協力などのほか月曜日から金曜日に中学校の巡回指導を行った。また、市立小学校、幼稚園において、英語活動等を行うことにより、児童・園児との交流を図った。	英語指導助手を3名採用し、中学校において英語授業の補助。英語クラブ、課外活動への協力などのほか月曜日から金曜日に中学校の巡回指導を行った。また、市立小学校、幼稚園において、英語活動等を行うことにより、児童・園児との交流を図った。	派遣予定表に基づき実施した。3人のAETが3中学校を概ね1月単位でローテーションして英語授業の補助をした。また、小学校及び幼稚園へも派遣し、英語活動を行った。	3人のAETが3中学校を概ね1月単位でローテーションして英語授業の補助をした。また、小学校及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。
	情報教育の充実 ( ) ・コンピュータ等の機器の充実	学校教育	H17～21	校務用パソコンが教職員に100%貸与されており、校務において非常によく活用されている。教職員のICT活用能力も向上し、授業のための資料収集や教材作成、児童生徒の宿題等の作成に広く活用されている。周辺機器の充実により、ICT活用指導力の高い教職員は、プロジェクタやパソコンを活用した分かりやすい授業を展開している。またスキャナ、デジタルカメラ、プリンタを利用した効果的な教材作りは、児童生徒の理解を助けている。デジタル教科書やNHKデジタル教材など、デジタル教材やデジタルコンテンツが充実してきており、校内LANを利用した分かりやすい、興味関心を高める授業実践も始まっている。(校内LANの普通教室への敷設は、ほぼ100%である。プロジェクタは各校2台に加え、要望に応じて追加で貸し出している。)	教員の活用が増えるとともに生徒への活用も広がりがつづつある。しかし、京田辺市では小学校ではコンピュータ教室を作っていないため、液晶プロジェクタを活用して授業をしようとする設置・設定が必要となり、コンピュータを使った授業のやる気はあるが、接続や技術の不安がある先生方も多く、活用の障害になっている。それを解決するためには、IT化された教室の設置で一般教科への対応がより可能になり、児童生徒の学力の向上につながる。また、小学校へのパソコン教室の設置よりも予算的にコストダウンになり、活用状況の幅も広がる。大型モニター65インチコンピュータ液晶タブレット・DVD・スピーカー等を3校に設置	教員の活用が増えるとともに生徒への活用も広がりがつづつある。しかし、京田辺市では小学校ではコンピュータ教室を作っていないため、液晶プロジェクタを活用して授業をしようとする設置・設定が必要となり、コンピュータを使った授業のやる気はあるが、接続や技術の不安がある先生方も多く、活用の障害になっている。それを解決するためには、IT化された教室の設置で一般教科への対応がより可能になり、児童生徒の学力の向上につながる。また、小学校へのパソコン教室の設置よりも予算的にコストダウンになり、活用状況の幅も広がる。大型モニター65インチコンピュータ液晶タブレット・DVD・スピーカー等を3校に設置	教員の活用が増えるとともに生徒への活用も広がりがつづつある。しかし京田辺市では小学校でのコンピュータ教室を作っていないため、液晶プロジェクタを活用して授業をしようとする設置・設定が必要となり、コンピュータを使った授業のやる気はあるが接続や技術の不安がある先生方も多く、活用の障害になっている。それを解決するためには、IT化された教室の設置で一般教科への対応がより可能になり児童・生徒の学力向上につながると思われる。  また小学校へのパソコン教室の設置よりも予算的にコストダウンになり、活用状況の幅も広がる。大型モニター65インチコンピュータ液晶タブレット・DVD・スピーカー等を3校に設置した。目標:各教室2台、特別教室10台、コンピュータ教室42台
	情報教育の充実 ( ) ・コーディネータ・ネットワーク、ソフト管理 配置事業 ・情報モラルやマナーの育成 ・情報通信ネットワークやコンピュータなどを積極的に活用する能力、態度の育成	学校教育	H17～21	情報教育コーディネータの派遣により、貸与パソコンをはじめとするICT機器を常時快適に使うことができている。また教職員の活用の増加に伴い、ソフトの使用法の相談も増えている。夏期講座の開催や校内研修への講師派遣により、教職員のICT活用指導能力が高まり情報モラルやセキュリティ意識も向上し、各校での指導に生かされている。	教員のコンピュータ活用も広がり、授業のプリント作成やデータサーバを活用した補修学級プリント・休業中のワークブック等の作成に活用されている。情報関係の授業だけでなく一般の授業でのコンピュータ活用事例も増えてきている。(主要施策を参照した)・情報教育コーディネーター派遣 12か月(予算・決算) 情報モラルとセキュリティ、情報機器の活用に関する講座の開催	教員のコンピュータ活用も広がり、授業のプリント作成やデータサーバを活用した補修学級プリント・休業中のワークブック等の作成に活用されている。情報関係の授業だけでなく一般の授業でのコンピュータ活用事例も増えてきている。(主要施策を参照した)・情報教育コーディネーター派遣 12か月(予算・決算)	教員のコンピュータ活用も広がり、授業のプリント作成やデータサーバを活用した補修学習プリント・休業中のワークブック等の作成に活用されている。情報関係の授業だけでなく一般の授業でのコンピュータ活用事例も増えてきている。(主要施策を参照した)・情報教育コーディネーター派遣 12ヶ月(予算・決算) 目標:全学校、全学年で授業での活用率向上(1月1回 週1回 日1回)

生きる力

文部科学省の中央教育審議会では、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力、自らを律しつつ、

他人と協調し他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力をさしている。